

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

公開実用 昭和62-188875

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭62-188875

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)12月1日

H 04 N 5/64
G 11 B 33/06

F-7060-5C
E-7177-5D

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 VTR収納用のテレビジョン受像機一体型キャビネット

⑯ 実 願 昭61-75534

⑰ 出 願 昭61(1986)5月20日

⑱ 考 案 者 石 川 照 男 守口市京阪本通2丁目18番地 三洋電機株式会社内

⑲ 出 願 人 三洋電機株式会社 守口市京阪本通2丁目18番地

⑳ 代 理 人 弁理士 西野 卓嗣 外1名

明 細 書

1. 考案の名称

V T R 収納用のテレビジョン受像機一体
型キャビネット

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) テレビジョン受像機の底面両側に蝶着され、
直立位置と折畳み位置に回動可能な一対の第 1 支
持板と、

前記第 1 支持板の蝶着方向と直交する方向に蝶
着され、直立位置と折畳み位置の 2 位置に回動可
能な一対の第 2 支持板と、

直立位置において前記第 2 支持板を前記第 1 支
持板に蝶着固定する固定手段とから成り、

前記第 1・第 2 支持板の直立位置において前記
両支持板により構成される空間に V T R を収納せ
しめ、折畳み位置において前記第 1 支持板により
前記テレビジョン受像機を支持することを特徴と
する V T R 収納用のテレビジョン受像機一体型キ
ャビネット。

3. 考案の詳細な説明

(イ) 産業上の利用分野

本考案は、テレビジョン受像機と一体のVTR収納用キャビネットに関する。

(ロ) 従来技術

通常、VTRはTV受像機近傍に配置されることが多く、このためTV受像機が載置されるテレビ台自身にVTR収納用のスペースを設けた（例えば電波新聞社発行の雑誌「電気店」（1986年5月号）のP41に開示されるAVシステムラック）ものが賞用されている。

(ハ) 考案が解決しようとする問題点

前記従来技術では、VTRを組み込まない時には空スペースが生じ、テレビ台自体の大型化を招き、美感を損うという問題点が生じる。

(ニ) 問題点を解決するための手段

本考案は、TV受像機の底面両側に蝶着され直立位置と折畳み位置の2位置に回動可能な一对の第1支持板と、この第1支持板の蝶着方向と直交する方向に蝶着され、直立位置と折畳み位置の2位置に回動可能な一对の第2支持板と、直立位置

において第 2 支持板を第 1 支持板に蝶着固定する固定手段とから成り、直立位置において両支持板により構成される空間に V T R を収納せしめ、折畳み位置において第 1 支持板により T V 受像機を支持することを特徴とする。

(ホ) 作 用

本考案は上述の如く構成したので、V T R を収納する場合にのみ、T V 受像機の下方に収納スペースを設けることが可能となる。

(ヘ) 実 施 例

以下、図面に従い本考案の一実施例のキャビネットについて説明する。

T V 受像機(1)の底面の両側端には、前面(2 a)・側面(2 b)・天面(2 c)の 3 面から成る第 1 支持板(2)(2)が対向的にヒンジ(3)(3)にて蝶着され、直立位置と折畳み位置の 2 位置に回動可能となっている。

第 1 支持板(2)(2)の蝶着方向に直交する方向である底面前端には、ヒンジ(4)(4)にて第 2 支持板(5)(5)が蝶着されている。この第 2 支持板(5)(5)も第 1 支

持板(2)(2)と同様に、直立位置と折畳み位置に回動可能であると共に、上面(5a)(5a)と前面(5b)(5b)にて構成され、前面(5b)(5b)の側縁に螺合孔(6a)(6a)を有するL字状片(6)(6)が固定されている。

(7)(7)は第1支持板(2)(2)の蝶着方向に平行に直立位置と折畳み位置の2位置に内方に回動可能にヒンジ(10)(10)により蝶着された第3支持板である。この第3支持板(7)(7)の下端にはVTR載置面(7a)(7a)があり、また第1・第3支持板(2)(7)間の間隔は、第2支持板(5)の前面(5b)の幅に略等しい。

各支持板(2)(5)(7)が直立位置にある場合、第2図の様にVTR(8)が第3支持板(7)(7)間に収納される。この時、VTR(8)はVTR載置面(7a)(7a)上に載置され、また螺合孔(6a)(6a)にビス(固定手段)(9)(9)を貫通せしめて、第2支持板(5)(5)を第1支持板(2)(2)に螺着せしめ、第1・第2支持板(2)(5)は直立位置にて固定状態を維持する。尚、第1支持板(2)(2)の前面(2a)(2a)の裏

側で螺合孔(6a)(6a)に対向する位置には、ビス止め用穴が予め形成されている。

VTRを収納しない場合には、ビス(9)(9)による螺着を解除し、まず第3支持板(7)(7)を内側に折畳み、第2支持板(5)(5)を後方に折畳んだ後、第1支持板(2)(2)を内側に折畳んで第2支持板(5)(5)を包み込みつつ、前面(2a)(2a)・側面(2b)(2b)の端縁をTV受像機(1)の底面に当接せしめ、第3図に示す様にTV受像機(1)を第1支持板(2)(2)にて支持する。

(ト) 考案の効果

上述の如く本考案によれば、簡単な構成にてVTR収納用のスペースをTV受像機の下部に一体的に形成でき、美観上も優れ実用的価値が極めて高い。

4. 図面の簡単な説明

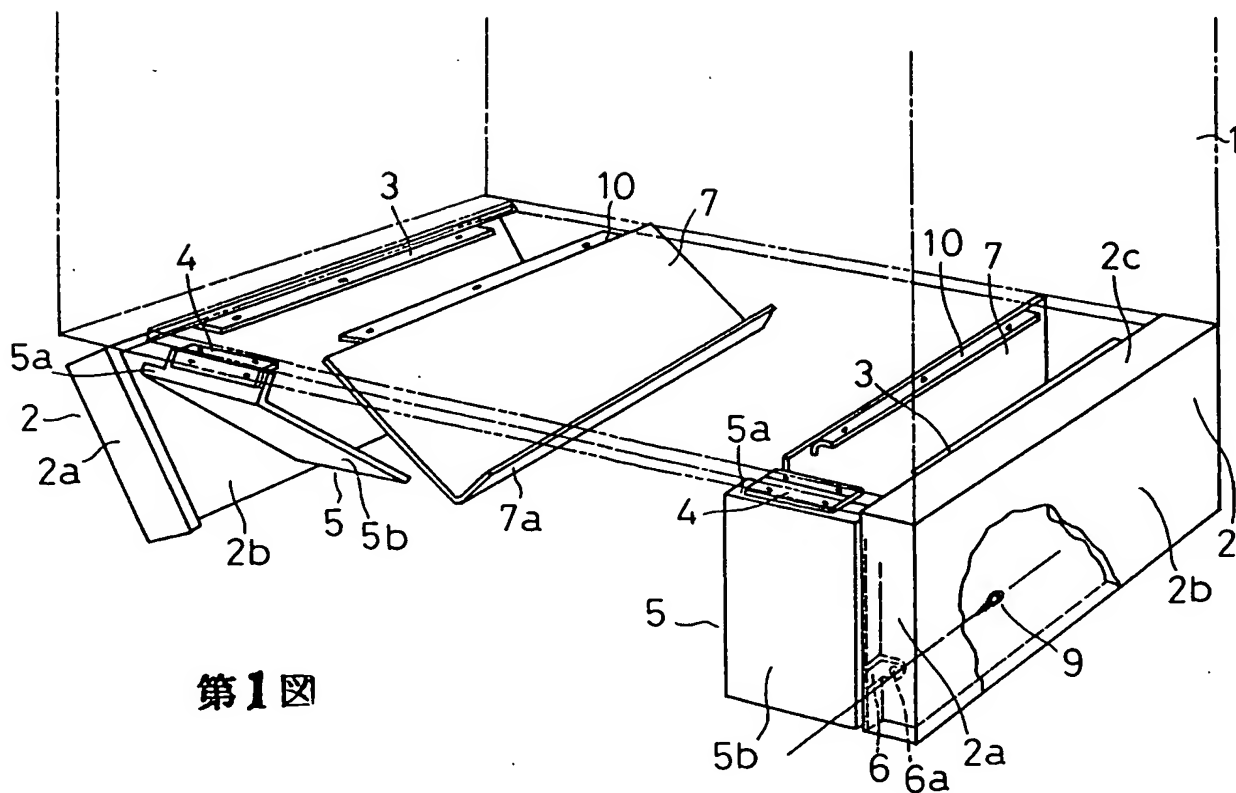
図面は本考案の一実施例に係り、第1図は要部斜視図、第2図はVTR収納時の外観図、第3図はVTR未収時の外観図である。

(1)…TV受像機、(2)…第1支持板、(5)…第2支

持板、(8)…V T R、(9)…ビス（固定手段）

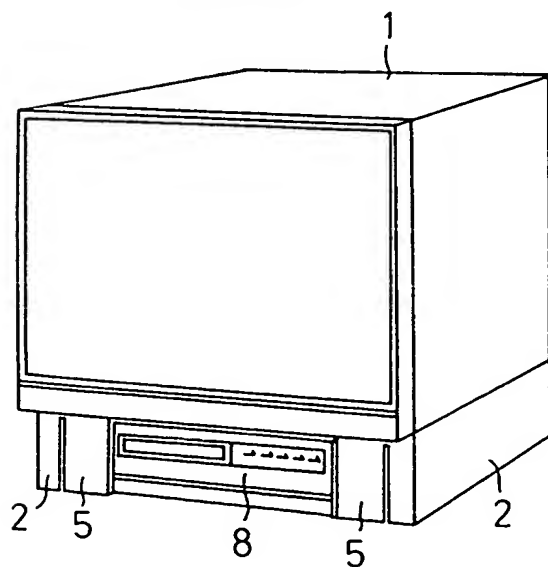
出願人 三洋電機株式会社

代理人 弁理士 西 野 卓 嗣 （外1名）

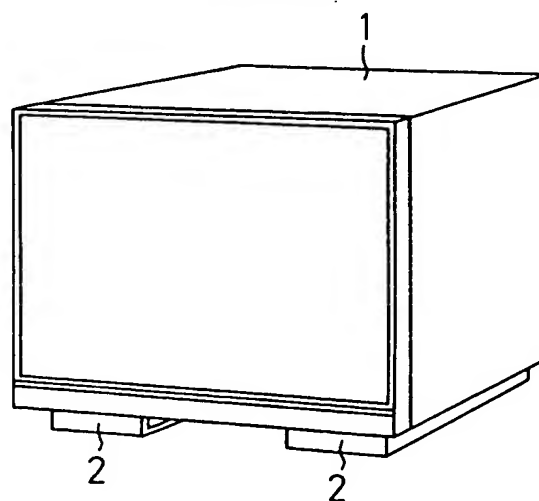


第1図

第2図



第3図



874

出願人 三洋電機株式会社
 代理人 弁理士 西野卓嗣 (外1名)
 実開 62-188875